

広島県知事コメント

本日、来年の主要国首脳会議（G7サミット）が、広島で開催されることが発表されました。心から喜ばしく思うとともに、広島を訪れる各国首脳をはじめ、G7サミットに関わる全ての皆様を心から歓迎したいと思います。

また、広島開催の決定に御尽力いただきました岸田総理をはじめ、日本国政府、並びに各国政府関係者の皆様に、感謝を申し上げたいと思います。

人類史上初の原子爆弾による徹底した破壊を経験し、その後目覚ましい復興を遂げた広島は、戦争の悲惨さと平和による繁栄の二つのメッセージを有しています。その広島で、世界の政治リーダーが世界のあるべき将来について議論することは、現在の厳しい国際情勢において、極めて意義が高いと考えます。

また、ウクライナ侵略で損なわれた対話やルールに基づく国際協調を再び取り戻し、将来、ウクライナの人々が復興に向けて前進する際の「希望の象徴」にもなるものと考えています。

核兵器廃絶に向けて、かつてないほど厳しい状況におかれている今だからこそ、広島で開催する意義が高まっていると考えます。

各国首脳の皆様には、広島で、被爆の実相に触れ、核兵器の非人道性を十分に認識していただき、核兵器の存在そのものが大きな脅威であり、核兵器が使用される恐怖から逃れる唯一かつ確実な方法は廃絶しかないということを、改めて理解していただきたいと思います。

県としましても、国や広島市、県警をはじめ、関係団体などと連携し、万全の体制で皆様をお迎えできるよう、県民の皆様の協力をいただきながら、受入準備を進めたいと考えています。